ゆずりは春江の森保育園
（令和８年４月開園）
ゆずりは保育園分園みずえ

し　お　り

２０２５年度版

１．理念・方針・保育内容

理念

私たちは心をはぐくむ保育を目指しています

☆　命の大切さがわかる心

☆　自分で選ぶ、考える、自分で決める心

☆　思いやりの心、みんなと一緒にすることの楽しさを味わえる心

保育方針

✿一人一人の子どもが、安心して快適に過ごすことができる環境を用意します。そして子ども自身が持つ生きる力を最大に引き出すことをサポートしていきます。

✿健康な心と体、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を培っていきます。身近な人と気持ちが通じ合い、心を育てること、たくさんの体験の中から、好きなことを見つけたり、やりたい気持ちを育てていくことをサポートしていきます。

✿日常生活の中で、本物に触れる体験を通して豊かな感性や表現する力を養い、自らを創造する子どもたちを育てていきます。

✿キリスト教の愛の精神、そしてモンテッソーリ教育をベースに、就学準備型ではない生活基盤型の保育、教育をしていきます。
様々な保育内容を取り入れた、新しい保育園として２１世紀の子ども達が心身の平和を保っていられるよう応援していく場所でありたいと思っています。

保育内容（当園の定期的な設定教育保育プログラム）

✿　モンテッソーリ教育
　・クッキング
　・畑（種から育て、毎日水やりをして育て作物を収穫します。）
✿　ダルクローズ式リトミック（３歳児以上）
✿　バレエ（本園３歳児以上）
✿　英語

少しずつ保育の中に取り入れていく予定です。
このような活動を通して、子ども達の成長をお手伝いしていきます。

２．施設概要

施設名称　：　ゆずりは春江の森保育園（以降本園と表記）
　　ゆずりは保育園分園みずえ（以降分園と表記）

設　置　者：　社会福祉法人さがみ愛育会

理　事　長：　小林　祐子

施　設　長：　山下　美緒

	本　園	分　園
開設年月日	令和８年（2026）年４月１日	令和４（2022）年４月１日
所在地	東京都江戸川区瑞江１丁目１８番（以下未定）	東京都江戸川区瑞江１丁目１８番地１７号
電話番号	０３－６２３１－８４０５	０３－６２３１－８４０５
携帯番号	未定	０８０－７２６６－０９９３
ＦＡＸ№	０３－６２３１－８４０６	０３－６２３１－８４０６
入所定員	０歳…６名 １歳…７名　２歳…８名 ３歳…１８名　４歳…１８名 ５歳…１８名	０歳…３名 １歳…１０名 ２歳…１０名
開所時間	7:00～19:00（月～金） 7:00～18:00（土） （延長保育 18:01～19:00） ※土曜日の延長保育はありません	7:00～19:00（月～金） 土曜日は本園にて保育します （延長保育 18:01～19:00）

休　園　日：日曜日、祝祭日、年末年始（１２月２９日～１月３日）

職 員 構 成：施設長・保育士・看護師・栄養士・調理師・事務員・委託医（小児科・歯科医）

委　託　医

小児科：アンヌ小児科　東松本１－１４－９　　TEL　03-3672-1071

歯科医：そら歯科医院　瑞江Ｉ－２５－１　　TEL　03-5636-0963

基盤

社会福祉法人さがみ愛育会（神奈川県相模原市）

私たちは　神奈川県・東京都に保育園や障がい者施設など22 施設を運営している法人です。

８０年以上、保育園の運営をしている歴史のある法人です

職員体制

役職名	本園人数	分園人数
園長	1	
主任	1	1
保育士	２０	１０
保育助手	３	1
栄養士	２	
調理師	４	
看護師	1	
総務	1	
嘱託医	1	
嘱託歯科医	1	

※園長・主任含まず

※調理は、平日は本園・分園それぞれで行います

クラス構成

当園は日中の活動をたて割り保育を中心とした“生活クラス”という分け方で過ごします。

	月齢	０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児
本園	クラス名	もみじ組	さくら組 かえで組		りんご組 かりん組		
	定員数	６	７	８	１８	１８	１８
分園	クラス名	くるみ組	あんず組 もも組				
	定員数	３	１０	１０			

※0 歳児（生後５７日目から）

☆上の学年への移行は本園・分園ともに、年度の途中でも行います。

３．保育園の利用について

①保育時間

保育標準時間認定に関する保育時間【８時間～最大１１時間】

当園が定める次の時間帯の範囲で、保育標準時間認定を受けた支給認定保護者が保育を必要とする時間とします。

月～金曜日　7:00～19:00

土曜日　　7:00～18:00

保育標準時間認定

7:00	18:01	19:00
	延長保育	

保育短時間認定

7:00	8:30	16:31	19:00
延長保育		延長保育	

※原則として０歳児の延長保育はありません。
※延長保育を登録希望される方は延長保育利用申込申請書をご提出ください。
※土曜日の延長保育はありません。

②延長保育について

当園が定める保育時間（１１時間）以外の時間帯において、やむを得ない事情により保育・教育が必要な場合は、当園が定める保育時間（１１時間）から開所時間の間に延長保育を提供します。

	延長保育利用登録の方	延長保育利用臨時の方
7:00～8:30 （保育短時間認定）		日額　400 円
16:31～18:00 （保育短時間認定）		日額　400 円
18:01～19:00	月額　5,000 円	日額　700 円

※保育時間終了後課金（19:01～）　３０分毎　１，０００円

③土曜保育について

- 保護者の方が就労の場合のみご利用になれます。
- 保護者の方がお休みの場合はご家庭での保育をお願いいたします。
- 就労証明書と土曜保育登録が必要となります。
- 土曜保育利用の方は毎月１５日までに『土曜保育確認書』を提出してください。
- 土曜日の延長保育はありません。

④導入保育について

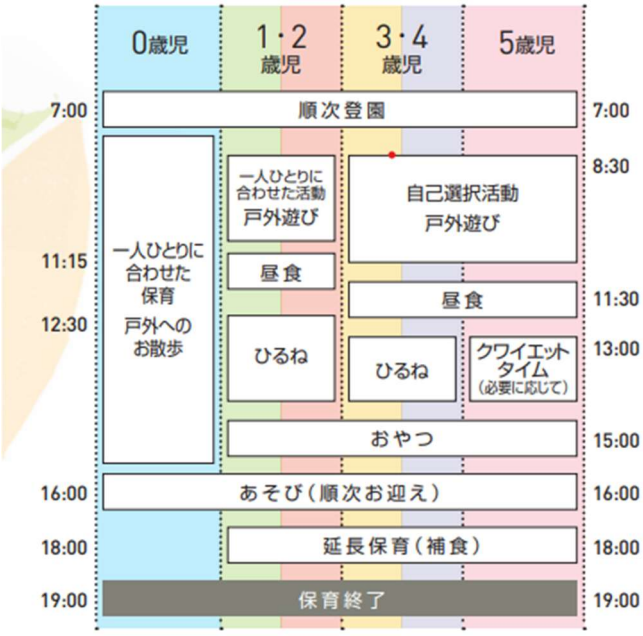
【目安】

① 9:00～10:00
② 9:00～11:00
③ 9:00～12:00（給食まで）
④ 9:00～15:30（午睡後おやつまで）

日程はお子さまの様子に
合わせて対応していきます。

３．保育園の一日、行事について（ゆずりは保育園の一日、行事を参照にしています）

■保育園の1日



0才児のお子さまの食事は個々に対応します

■行事について

	行事		毎月行うもの
4月	であいの日★（新入園児）		
5月	保育と育児を考える日★		誕生日お祝い
6月		虫歯予防デー	身体測定
7月	水遊び・プール遊び すいかわり	七夕	避難訓練
8月	プール遊び		
9月			
10月	親子ふれあいデー★（0歳児） 親子スポーツデー★（1～5歳児） 遠足（3・4・5歳児）		
11月	保育と育児を考える日★ やきいも		内科健診 0歳児：1回／月 1歳児：4回／年
12月	もちつき（5歳児） クリスマス会		
1月			2歳児以上：2回／年
2月	生活発表会★ 親子観劇会（5歳児）★ 卒園おわかれ遠足（5歳児）	節分	歯科検診 1回／年
3月	卒園式★（5歳児）	ひなまつり	

◎詳しい日程・詳細は毎月のおたよりにのせています。
★印は保護者参加となります。

４．給食について

✿実施方法…毎日（自園調理にて完全給食）

✿給食の方針…薄味の味付けにて素材そのものの良さを引き出し、旬の食材を用いて栄養のバランスの取れた、魅力的な食事を目指しています。

✿アレルギー・宗教食等への対応

アレルギーが疑われる場合、医師の診断書と採血結果を園に提出していただきます。
個別にご相談の上、診断書に基づき除去食・代替食で対応しています。アレルギー用のトレー、お皿を用意し誤食が起きないように細心の注意を払って提供していきます。

✿離乳食の提供について

＊お子さまの離乳食段階に合わせて提供します。「お子さまの調子が悪い」、「〇〇食べたら肌が赤くなった」「食事の形態が変わった」等　担任まで連絡ください。
＊食べたことがない食材は提供できませんので、時期が来ましたら出来る限りいろいろな物をお家で食べて、食べたら担任までお知らせください。

＊離乳食（補食）提供時間について　初期…10:30
中期…10:30・14:30（補食）
後期、完了期…11:00・15:00（補食）

✿献立について…月末に翌月の献立を配信します。お子さまが食べたことがない食材がありましたら、食べてから給食の日を迎えるようにしてください。

✿栄養相談…お子さまの栄養や給食、食べ物についてご意見や質問などがありましたら、お気軽にご相談ください。

５．保健について

保育園は健康なお子さまを集団でお預かりする場所です。まだ幼い子どもは免疫力が低く、長時間一緒に過ごす場所であるため、感染が大変起こりやすい状況にあります。ご家庭からの健康情報を元に日々の健康を把握し、症状の早期発見とご連絡、受診のお勧めをしています。日々、保育園内の消毒に努め、換気を行い感染をできる限り拡げないように心がけています。お子さまが保育園生活を楽しく、安全に過ごすために、以下のように皆様の深いご理解とご協力をお願い致します。

① 【登園基準】

・37.5℃以上の発熱がある
・24 時間以内に２回以上の下痢または嘔吐がある
・食欲がなく、水分が摂れていない

上記の場合は登園をお控えください。

解熱後の登園目安

発熱が解熱したというのは、熱が続けて 24 時間下がった状態をいいます。熱は下がったと思ってもまだ上がることが通常多くあり、登園するためには、機嫌が良く、１日以上平熱に戻る必要があります。

また、発疹、嘔吐、下痢、食欲がないなどの場合は、まだ感染する期間であったり、通常保育ができる状態にないため、お預かりできないことがあります。あらかじめご了承ください。嘔吐、下痢は症状が完全に治まり食欲が戻ってから登園しましょう。（ 特に流行性の病気が流行っている時や症状が似ている時など、普段と体調が違う時は病院受診をし、医師の指示に従ってください。）

② 家庭保育について

お仕事がお休みの日は原則、家庭保育をお願いします。

③ 保育中に具合が悪くなった場合には、保護者にご連絡します。

保育中に３７．５℃以上の熱、嘔吐、下痢、食事が取れない、発熱を伴う発疹、激しい咳や鼻水、アレルギーが疑われる蕁麻疹など体調の変化が見られた場合は、保護者に連絡をしますので、確実に連絡が取れる緊急連絡先をお知らせください。

④ 伝染性の病気は治癒証明が必要になります。

学校保健安全法では感染症にかかった時、出席停止の指示をしなければならない事になっていますが、保育園においてもこれを重視しています。また登園する際は医師の診断と治癒証明が必要となります。（⑫「子どもがかかりやすい伝染性の病気」をご参照ください。）

兄弟児が伝染性の病気にかかった場合は、他兄弟児も一緒にお休みして頂くよう、ご協力をお願いします。

⑤ ケガや緊急性がある場合には、園から病院受診します。

医師の処置が必要と判断される場合には、保護者に連絡の上、保育園で医療機関を受診します。保護者に連絡が取れなかった場合には、お子様の身体の安全を再優先し、当保育園が対応しますので、あらかじめご了承ください。

⑥ 身体測定、定期健康診断を以下の通り行います。

毎月行います。年間予定の日程は変更することがあります。詳しくは月初発行の「ほけんだより」にてお知らせしますので、健康状態把握の為に受けて頂けますようにお願いします。

【身体測定…毎月身長と体重】
【内科健診…０歳児　１回／月　・１歳児　４回／年　・２歳児以降　２回／年】
【歯科健診…全園児　１回／年】

⑦　投薬は原則、家庭でお願いします。

保育園に通っている事を医師に伝え、できるだけ朝、夜の２回処方の工夫をしてもらえるように医師にご相談ください。以下の場合の特殊なお薬に関しては対応できることもありますので、保育園に予めご相談ください。また、お薬についてわからないことがある場合はお気軽に看護師までお問合せ下さい。

【特別薬】
慢性疾患、アレルギー、熱性けいれん（座薬）などで医師が保育園での内服や座薬の預かりが必要と認めた場合は「特別薬」としてお預かりいたします。この場合は、医師が記載した「特別薬の投薬依頼書」が必要になります。薬局で発行される「薬剤情報提供書」（薬の名前や効能などが記入されている）と一緒にご提出ください。特別薬は最大１年を目安に見直し確認を行い、必要なくなればお返しいたします。

【外用薬】
乾燥による掻きむしり、赤みなどで保育中にかゆみを訴えることがある場合、保育園では白色ワセリンを塗っています。ご家庭でもケアをお願いします。連続して訴えが続く場合は皮膚科受診をお勧めすることがあります。また、症状により医師が処方した塗り薬に限りお預かりする事はできますが、長期ではなく症状が落ち着けば終了する方向です。

⑧　園内の感染拡大を防止するため、汚れものはそのまま返却致します。

便、尿、血液、嘔吐物、汗等がついた衣類、タオル、シーツ類はすべて感染物とみなし、水洗いせず、そのまま返却いたします。保育園内で感染を拡大しない為、ご理解をお願いします。また、保育園では手洗い励行、使い捨て手袋や次亜塩素酸ナトリウムを使用し消毒を行い日頃より感染拡大防止に努めています。ご家庭での消毒方法などについても随時お伝えしています。

⑨　アレルギーを持つお子様の対応

入園前面談にて詳しいお話を伺います。園での除去をする場合は「保育所における食物アレルギー疾患生活管理指導表」を医師に書いて頂く必要があります。
食物アレルギーは年齢とともに改善する場合が多く、不必要な食物除去は避ける必要があります。
６か月～１年に一回は医療機関を受診する事をお勧めし、医師の診断により継続または解除とします。

⑩保険のご案内

当園は下記の保険に加入しています。

・社会福祉施設損害保険

・独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済

できる限りケガなどしないようにお預かりしていきますが、もしも園でケガをした場合は上記の保険にて対応いたします。ただし、乳医療証が使用できる場合は保険証と乳医療証を優先致します。

6．もちものについて（ゆずりは保育園の持ち物を参照にしています）

＜おむつについて＞

紙おむつの定額サービスを導入しています。おしりふきも金額に含まれています。

月額料金：2,500 円　／　月　　対象：０～２歳児

※申し込みをご希望の方は、事務室へお問い合わせください。

７．モンテッソーリ教育について

モンテッソーリ教育とは・・・・

　マリア・モンテソーリ（1890 年～1952 年）はイタリアの最初の女性医学博士です。医師で精神医学者ならではの観察眼を通して、子どもの発達の法則を発見しました。
子どもは自ら成長・発達する力をもって生まれてきます。生まれる前からお母さんの胎内で、生まれてからも身体の五感をすべて使って周りにあるものすべてを吸収し、自らを成長発達させます。
生まれて１年で、言葉を話し出し、歩きだします。それは誰が教えたわけではありません。
子ども自らが獲得してきたものです。このように、環境にあるもの全てを自分の物にしていきます。
保育者は一人一人の子どものニーズに合わせたお手伝いをします。それは、整えられた環境を用意することです。その中で、子どもたちは、自分でやりたいことを選び、集中して活動します。

●保育園でモンテッソーリ教育
　モンテッソーリ教育では、子ども達が適した時期に適した環境で過ごすことを大切にしています。保育室では子ども達の発達の道筋に合わせた教具、教材などを自由に選んで使えるように配置し、日常生活の動作、感覚、言語、数、文化などの幅広い活動をします。それぞれのペースで、自己選択活動することにより主体性、集中力、思考力、判断力などの非認知能力が育まれることが期待できます。

●たて割り
　1、2 歳児と、3、4、5 歳児の異年齢でクラスが構成されています。異年齢の集団で過ごすことにより大きい子は小さい子のできないところを手伝ってあげようとする優しい気持ちが育ち、小さい子は大きい子が憧れの存在となります。見本となる存在が近くにいることで、子どもは自然と体の動かし方や物の扱い方等を理解し、吸収して学んでいきます。

●戸外活動
　園庭や目の前には広い公園、土手があり自然に恵まれた環境です。モンテッソーリ教育の根幹である自己選択活動では「何をするか」だけでなく「どこで遊ぶか」も選べるように戸外活動を充実させています。
自然は季節や天候によって表情を変え、子ども達は感覚を通してたくさんの刺激を受け取ります。
友達とのコミュニケーションの機会が増え、連帯感や社会性も育まれます。意図的に身体を動かすことで怪我をしにくいしなやかな身体の使い方を学んでいきます。

ゆずりは保育園では、このような内容で保育していきます。

８．移行について

お子様一人ひとりの発達の道筋に合わせた保育を行うため、ゆずりは保育園では、年度初めの４月に一斉に進級するのではなく、個々の成長に合わせたタイミングで上の学年クラスに移行していきます。

各クラスの紹介

０歳児クラス（ニド）・・・歩行が上手にできるようになる 14 ヵ月～18 ヵ月位までのクラス

本園（もみじ組）　分園（くるみ組）

ニドというのは「鳥の巣」という意味です。安心・安全な環境の中で、大人との愛着関係をしっかりと築いていく大切な時期です。そして、この時期に言語の基礎も築かれます。子どもたちは、離乳・歩行が完成するまでの大切な時期を保育者としっかり向かい合い、コミュニケーションを取りながら、ニドのお部屋で過ごしていきます。

0 歳児は歩行が完成し始める頃からクラス担任と共に IC クラスへ遊びに行き、おしごとをしたり給食を食べたりしながら、少しずつ IC での生活に慣れていくように配慮していきます。IC のクラス担任とも信頼関係を築いていくため、ニドクラスの担任は少しずつ子どもと距離を取り、無理なくクラスが移行できるよう援助していきます。

１・２歳児クラス（IC：インファント・コミュニティ）・・・歩行が完成し自由に動き回れるようになった 18 ヵ月位から３歳位までが過ごす異年齢クラス

本園（さくら・かえで組）　分園（あんず・もも組）

自由になった手をどんどん使い始めます。排泄・食事・着脱・睡眠などの基本的な身辺自立を身につけていきます。様々な作業を通して、自分が生活の主人公となり、自信をつけていきます。

2 歳児のお子様は排泄面、生活面などがほぼ自立し、会話でのコミュニケーションが取れたり、IC のおしごとでは物足りないなどの成長が見られ始めると IC クラスの担任と共にプライマリークラスへの導入保育が始まります。プライマリーの各クラスへ挨拶に行くことから始まり、トイレやロッカーの場所などを見学していきます。クラスの保育者と顔見知りになることから始め、少しずつ生活時間を延ばしていきながら、自然となじんでいけるように進めていきます。

３・４・５歳児クラス（プライマリー）・・・年少（３歳児）から年長（５歳児）までが過ごす異年齢クラス

本園（りんご・かりん組）

子ども同士の学び合いをさらに大切にしています。子どもが興味を持ったことを自分で選び、じっくり取り組める環境の中で、年少児は年長児を見て学んだり、憧れたりしながら育ちます。また、年長児は年少児に対して、優しく接したり、お世話をする中で、思いやりの心を育み、リーダーシップなどを身につけていきます。